

第32回 小学館 ノンフィクション大賞

大賞
300万円

募集

第32回となる小学館ノンフィクション大賞では、読む人にこれまで以上に驚きや感動をもたらすエンターテインメント色豊かなノンフィクションを募集します。ジャーナリスティックな視点を持った政治・経済・社会・スポーツなどの世界を描いたドキュメント、著名な人物の知られざる一面を描いた評伝などはもちろんのこと、独自の視点やアプローチから現代社会の一面を切り取った作品を期待します。



■選考委員

酒井 順子

(さかい・じゅんこ)エッセイスト。1966年生まれ。大学卒業後、広告会社勤務を経て執筆業に専念。2003年に発表した『負け犬の遠吠え』はベストセラーとなり、講談社エッセイ賞と婦人公論文藝賞をダブル受賞。女性の生き方、古典、旅、文学など幅広く執筆。『ユーマンの罪』『家族終了』『女人京都』など著書多数。



■選考委員

森 健

(もり・けん)ジャーナリスト。1968年生まれ。2012年、『「つなみ」の子どもたち』で第43回大宅壮一ノンフィクション賞受賞。2015年、『小倉昌男 祈りと経営』で第22回小学館ノンフィクション大賞、第48回大宅壮一ノンフィクション賞(2017年)を受賞。2023年、『安倍元首相暗殺と統一教会』で第84回文藝春秋読者賞受賞。



■選考委員

河合 香織

(かわい・かおり)ノンフィクション作家。1974年生まれ。神戸市外国語大学卒。09年『ウスケボーイズ 日本ワインの革命児たち』で小学館ノンフィクション大賞を、19年『選べなかった命 出生前診断の誤診で生まれた子』で大宅壮一ノンフィクション賞と新潮ドキュメント賞を受賞。『老化は治療できるか』など著書多数。

■原稿枚数／400字詰め原稿用紙に換算して200～300枚程度。

ワープロ原稿の場合は1行40字×40行の縦組みで50～80枚程度。表紙に題名、住所、氏名(筆名の場合は本名も明記)、年齢、電話番号、職業を明記。

1200字程度の「梗概」(あらすじ)を添えて、郵送または宅配便でご応募ください。

■応募資格／応募者はプロ・アマ、性別、国籍、年齢を問いません。グループ、共同著作も可。未発表の作品に限りませんが、雑誌などで発表された作品、ブログなどで公表されたことのある作品については、追加執筆による未発表部分が半分以上であれば可。自費出版物については、書店に流通していなければ可。

■応募締切／2025年8月末日(当日消印有効)

■応募先／〒101-8001 東京都千代田区一ツ橋2-3-1 小学館 ポスト・セブン局 「小学館ノンフィクション大賞」事務局

■賞金／「ノンフィクション大賞」300万円

■発表／2025年12月～2026年1月頃『週刊ポスト』『女性セブン』誌上

■お問い合わせ先／小学館ノンフィクション大賞事務局 電話03(3230)5961

■注意事項

※応募原稿は返却しません。必ず控えのコピーをおとりください。

※いかなる場合でも応募作品の成否についてのお問い合わせには応じられません。結果については上記各誌面、及び小学館HP上のみの発表とさせていただきます。なお、最終選考に残った応募者には、2025年9月末までにご連絡します。

※受賞作の出版権、映像化権等は、すべて小学館に帰属します。その場合の権利料は、賞金に含まれます。

※他社主催の賞との二重応募は厳禁です。発覚次第、無効とします。

主催＝小学館『週刊ポスト』『女性セブン』